

(1) 沖繩調印過 關・全国反戦の

再編・止揚の展 運動の止揚と

「(一) 党一大衆」 戦線 [以上前号]

「(二) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(三) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(四) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(五) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(六) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(七) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(八) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(九) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十一) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十二) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十三) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十四) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十五) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十六) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十七) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十八) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十九) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(二十) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(二十一) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(二十二) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

(ロ) カンパニア主義の

止揚と運動戦略 武装・軍事への越境とは何か

「(一) 党一大衆」 戦線 [以上前号]

「(二) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(三) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(四) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(五) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(六) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(七) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(八) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(九) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十一) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十二) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十三) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十四) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十五) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十六) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十七) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十八) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十九) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(二十) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(二十一) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(二十二) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

(ハ) 党一大衆運動の止

揚と党一軍一戦線 「統一」関係と共同性

「(一) 党一大衆」 戦線 [以上前号]

「(二) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(三) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(四) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(五) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(六) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(七) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(八) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(九) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十一) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十二) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十三) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十四) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十五) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十六) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十七) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十八) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十九) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(二十) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(二十一) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(二十二) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

党倒錯者集団を粉砕し

拠点形成へ！ 反帝戦線高校生フラク連合

「(一) 党一大衆」 戦線 [以上前号]

「(二) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(三) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(四) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(五) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(六) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(七) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(八) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(九) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十一) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十二) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十三) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十四) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十五) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十六) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十七) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十八) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(十九) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(二十) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(二十一) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

「(二十二) 八派一全共」 戦線 [以上前号]

八派一全共闘・反戦再編への

具体的諸課題

戦略・運動・組織の現段階と

八派一全共闘の現段階と具体的な諸課題
(一) 八派一全共闘の現段階
(二) 八派一全共闘の現段階
(三) 八派一全共闘の現段階
(四) 八派一全共闘の現段階
(五) 八派一全共闘の現段階
(六) 八派一全共闘の現段階
(七) 八派一全共闘の現段階
(八) 八派一全共闘の現段階
(九) 八派一全共闘の現段階
(十) 八派一全共闘の現段階
(十一) 八派一全共闘の現段階
(十二) 八派一全共闘の現段階
(十三) 八派一全共闘の現段階
(十四) 八派一全共闘の現段階
(十五) 八派一全共闘の現段階
(十六) 八派一全共闘の現段階
(十七) 八派一全共闘の現段階
(十八) 八派一全共闘の現段階
(十九) 八派一全共闘の現段階
(二十) 八派一全共闘の現段階
(二十一) 八派一全共闘の現段階
(二十二) 八派一全共闘の現段階

労働運動の飛躍へ向けて

神津陽

- (1) 階級対立の新局面
- (2) 日本型労働運動の諸特徴と解体根拠
- (3) 日本労働運動の現状と焦眉の課題

Ⅰ 階級対立の新局面

階級対立の新局面は、戦後日本社会の根本的な変革を伴って展開している。戦前には、地主と農民、資本家と労働者の間に明確な階級対立が存在したが、戦後は、戦時体制下の国家主義的統制が、階級対立を一時的に抑制し、社会の安定を維持した。しかし、戦後民主主義の導入と経済成長の加速は、階級対立を再び顕在化させた。特に、労働運動の飛躍は、階級対立の新たな局面を開いた。この局面は、従来の階級対立とは異なり、戦時体制下の国家主義的統制が崩壊し、労働者が主体的に立ち上がり、階級対立を公然と追求するようになった点にある。この新局面は、日本型労働運動の諸特徴と解体根拠を明らかにし、日本労働運動の現状と焦眉の課題を浮き彫りにしている。

Ⅱ 日本型労働運動の諸特徴と解体根拠

日本型労働運動の諸特徴は、戦時体制下の国家主義的統制と戦後民主主義の導入という二つの歴史的経緯に由来している。戦時体制下では、労働者は国家のために犠牲を払ったが、戦後は、労働者が主体的に立ち上がり、階級対立を公然と追求するようになった。この日本型労働運動の諸特徴は、戦時体制下の国家主義的統制と戦後民主主義の導入という二つの歴史的経緯に由来している。戦時体制下では、労働者は国家のために犠牲を払ったが、戦後は、労働者が主体的に立ち上がり、階級対立を公然と追求するようになった。この日本型労働運動の諸特徴は、戦時体制下の国家主義的統制と戦後民主主義の導入という二つの歴史的経緯に由来している。

Ⅲ 日本労働運動の現状と焦眉の課題

日本労働運動の現状は、戦後民主主義の導入と経済成長の加速によって顕在化している。労働運動の飛躍は、階級対立の新たな局面を開いた。この局面は、従来の階級対立とは異なり、戦時体制下の国家主義的統制が崩壊し、労働者が主体的に立ち上がり、階級対立を公然と追求するようになった点にある。この新局面は、日本型労働運動の諸特徴と解体根拠を明らかにし、日本労働運動の現状と焦眉の課題を浮き彫りにしている。

労働者人口	5189万人
組合員人口	1108万人
組合員率	21.3%
組合員率(1950年)	17.9%
組合員率(1955年)	24.2%
組合員率(1960年)	28.7%
組合員率(1965年)	33.2%
組合員率(1970年)	37.7%
組合員率(1975年)	42.2%
組合員率(1980年)	46.7%
組合員率(1985年)	51.2%
組合員率(1990年)	55.7%
組合員率(1995年)	60.2%
組合員率(2000年)	64.7%
組合員率(2005年)	69.2%
組合員率(2010年)	73.7%
組合員率(2015年)	78.2%
組合員率(2020年)	82.7%

テック闘争緊急報告

テック闘争緊急報告は、戦後民主主義の導入と経済成長の加速によって顕在化している。労働運動の飛躍は、階級対立の新たな局面を開いた。この局面は、従来の階級対立とは異なり、戦時体制下の国家主義的統制が崩壊し、労働者が主体的に立ち上がり、階級対立を公然と追求するようになった点にある。この新局面は、日本型労働運動の諸特徴と解体根拠を明らかにし、日本労働運動の現状と焦眉の課題を浮き彫りにしている。

政治機関紙「叛旗」

半月刊



購読料 1部 30円
半年分 600円 1年分 1200円 示共
申込先 東京都新宿区西町2-197
東京ハルビニールビル2F
東京大塚保子 発行所 同人盟
大塚保子 編集者 同人盟
T E L 03 363 5809
東京 162 856

